第15号

聖天山周辺地区

景観まちづくり ニュース

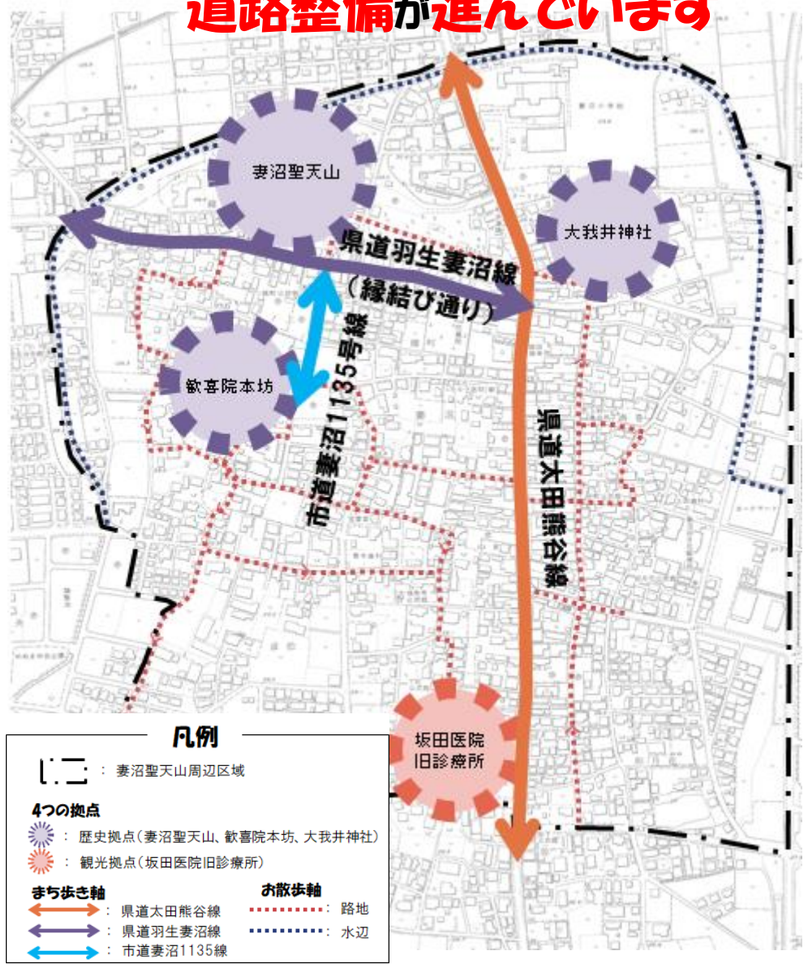
妻沼聖天山周辺には 景観まちづくりプラン があります ～概要と進捗状況～

妻沼聖天山周辺では、門前町の風情を活かしたまちづくりを行っていくために『景観まちづくりプラン』が平成２５年度に作成されました。このプランは、景観ワークショップを通じ、住民の方などの意見を取り入れながら、景観を切り口とした道路整備や普及啓発活動により、住民の方や商業者の方々と協働で景観を良くする取組を行うことで、より良いまちづくりにつなげていくことを目的としています。

4つの拠点とまち歩き軸、お散歩軸で構成

このプランは、妻沼聖天山、歓喜院本坊、大我井神社、坂田医院旧診療所の４つの拠点を結ぶ県道羽生妻沼線（縁結び通り）、県道太田熊谷線、市道妻沼１１３５号線をまち歩き軸に、地区内の路地や水辺などをお散歩軸にそれぞれ位置付け、それらの路線で景観整備に取り組んでいくこととしています。

① プランに基づいた 道路整備が進んでいます



県道羽生妻沼線（縁結び通り） ～聖天様お膝元の門前町商店街～ 完了しました

ワークショップでの意見

「電柱を敷地内に後退させ、歩行者空間を歩きやすく」をテーマに、後退後の歩道空間のデザイン、交通規制、夜間の灯りなどについて話し合いました。

子どもから大人まで安心して歩けるまちにしたい
- 交通環境の改善（大型車両の規制・速度制限・駐車場の配置や誘導）
- 歩行空間の整備、段差や凸凹の解消など

舗装・仕上げ等
- 歩道の色は明るくし、車道と違うものに（車からの視認性）
- いかに門前町らしく整備するか（茶系など）

交通規制
- 大型車両が多く、通学路でもあるので規制したい

路上駐車
- 店先駐車、ある程度は仕方ないがマナーが必要。

夜間の灯り
- 電柱に取り付ける照明もある
- お店に足下を照らすウェルカムライトを。（暖かみのある色）

来訪者が快適に歩き、回遊できるよう、道路内にあった電柱を宅地内に移設させてもらい、街路灯も電柱共架型の照明とすることにより、歩行空間のゆとりを確保しました。また、歩行空間は自然石風のインターロッキングブロックを用い、電柱は、ダークブラウンで仕上げ、門前町のまち並み景観を意識したものとしています。









市道妻沼1135号線 ～本坊と聖天山を結ぶシンボルロード～ 完了しました

ワークショップでの意見

聖天山と歓喜院本坊を結ぶシンボル的な道づくり
- 聖天山へのアクセスや回遊性の観点から、非常に大切な道である
- 並木道の再整備や道路の拡幅、段差の解消などの検討が必要

並木
- 以前は、桜の並木が続いていた
- 回遊性の向上や「おもてなし」の観点からは、桜を選択することもある

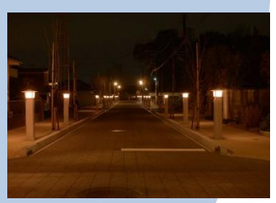
交通環境
- イベント時には大型車両が利用し、自動車のすれ違いが困難
- 地区全体での交通規制との兼ね合いを踏まえる

歩行者空間
- 子どもからお年寄りまでの多くの人が利用する道
- イベント時の歩行者の安全性の確保

来訪者が歴史を感じ、ゆとりを持って回遊できるよう、歩道は、自然石風の透水性平板を採用するとともに段差を解消し、車道は、参道をイメージした石畳風舗装仕上げとしました。また、聖天山は東国花の寺のうち、桜の寺とされていることから、街路樹に桜を植樹し、灯籠も設置しました。

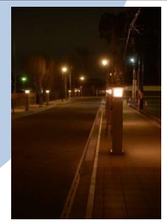












県道太田熊谷線 ～観光駐車場から聖天山へのアクセス路～ 実施に向けて準備中

ワークショップでの意見

安全で快適に歩ける通りへ
- めぬま観光駐車場から聖天様へのアクセス性の向上
- 歩行空間の整備、段差や凸凹の解消など

核づくりとおもてなし空間によるにぎわいの再生へ
- 空き店舗が増え、防災・防犯上も危険
- まちなかギャラリーが見えにくい

舗装・仕上げ等
- 歩道の切り下げが多く、歩きにくく危険
- 歩きやすい舗装材の活用や段差の解消

交通規制
- 観光客のアクセスを阻害しない交通規制の検討

店先の演出
- 心地よい店先の演出、景観づくり

空き地・空き店舗の活用
- 朝市等のイベントはよい
- お休み処（ベンチ）がほしい

県道羽生妻沼線に連なる門前町としてより快適で魅力的な空間としていくため、県道太田熊谷線では、歩道リニューアルを主とした整備を行っていく予定です。

② 道路整備と合わせ、みなさんの取組が『景観まちづくり』につながります！

“仲間で” できるところから！

まちを回遊する“お休み処”づくり

ワークショップでの意見

心地良い路地が沢山あり、来訪者も楽しめるように
- 表通りではなく住宅地内を歩いている来訪者も見かけるようになった
- 幅広い回遊のためのお休み処を。
- 芝川の水辺は貴重。もう少し歩きやすい空間に。

まちなかに休む場所が少ない
- 気軽に休める場所が少ない
- 住民にもより処となる場所が欲しい

トイレもない
- 観光客（特に年配の方）が利用しやすいトイレが欲しい

お休み処の整備
- ちょっと座って休めるところが欲しい
- 住んでいる人も観光客も共用で良い
- 食べ歩きができるよう、ゴミ箱などもあると良い
- あずまややパラソルなどの粋な休憩所

植栽をメインとした『花とみどりのまちづくり』を行っています。現在、2つの場所で地元ボランティアの方々により取組中です。

～県道羽生妻沼線（縁結び通り）と市道妻沼１１３５号線交差部～









～坂田医院旧診療所周辺～









現在、ボランティアメンバーを募集中です。また、仲間内で“自分たちでもやってみたい”という方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先
熊谷市役所都市計画課（大里庁舎2階） 電話：0493-39-4813（直通）
FAX：0493-39-5603 メール：toshikeikaku@city.kumagaya.lg.jp

“庭先・店先で” できるところから！

花とみどりでつなぐ まちなかメイクアップ作戦

ワークショップでの意見

花やみどりでまちをつないでいきたい
- 路地や店先、お休み処
- お地蔵様などのまわり
- ごみ置き場のまわり
- オープンガーデンをやっているお宅あり（増やしていきたい）

町内でプランターなど
- 小さくても良いので自治会ごとでプランターを置いたりできないか？
- 妻沼南小で、毎年プランターをひとつづつ配布している。

手入れ・維持が大変
- 手入れ・維持が大変…（工夫できることはないか）
- 公園や聖天山内などボランティア活動も行っているが、今のところで手一杯。

みなさんがそれぞれ少しずつ行うことで、花とみどりがつながればさらに景観が良くなります。







まち並みや歴史に対する“おもいやり”

かつての門前町のまち並みの特徴を歴史の中継ランナーとしてできるだけ未来に残していきたい！









ワークショップでの意見

聖天様をはじめ、豊富な歴史的資源などの魅力
- 寺院・神社や祠などが豊富
- ハイキングなどで訪れる人も増えた

まちを活性化したい
- 商業の再生・活性化が必要
- まちを明るくしたい気持ちが大事

まち並みづくり、まち並み保全
- ある程度一体感のあるまち並みに（門前町風、レトロなど）

まち並みの将来像が見えない
- 建築など、近隣への配慮が希薄化してきた。将来どのようなものが建つか不安
- 蔵や町家等のまちの歴史を感じさせる建物が減っている

まち・商業がややさびしくなっている
- 店舗が減少し、空地・空家が増えている
- 空き家が増えると防犯面や防災面でも危ない

空き店舗の活用には貸し借りする人の間に入る信頼できる人・組織が必要
- 出店したいという問い合わせは多い
- 今後実施するチャレンジショップも地元の商店会（顔がわかる）が受け皿になったからできた
- 空き家と出店意欲のある人のマッチングシステムが構築できるとよい

行政の支援等
- 建替えや修景による街並み整備が進むよう、行政の支援が考えられないか

“みなさんで” 考えながら！

手づくりサインで まちゆく人のおもてなし・・・

ワークショップでの意見

門前町らしくわかりやすい案内・サイン整備
- 家の近くで、よく道をきかれ、案内が必要ではと思う。
- 既存の手づくりサイン、感じが良い。ただ、デザインがいろいろで、もう少し一体感があると良い。
- 古びてしまったものもあり。

歴史のあしあとを伝えたい
- お地蔵様にもいわれや御利益があり、教えてあげたい。
- 路地や裏道も歩いてもらいたい。そのためにも、案内サインの設置が必要ではないか。

花とみどりのアピール
- 個人宅の庭先にも様々な植物が植わっている
- 樹木や花の名前の名板などつけると関心が高まるのでは？
- 聖天山敷地内では手づくりの樹木名板をつけている。

手づくり感が伝わる素材やデザインのサインである程度統一できればさらに景観が良くなります。









通りに名前を・・・

ワークショップでの意見

通りに愛称をつけては
- 通りや路地に共通認識となっている通りの呼称がない。
- 商店街は愛称がついているが（羽生妻沼線は縁結び商店街等）、通りとしての愛称があると親しみがわく

アイディアとして
- 羽生妻沼線は、縁結び通り
- 太田熊谷線は、めぬき通り　など

みなさんで通りに名前を付けられれば、まちに対する親しみが、さらにわきます。

できるところから！



